

2016年度 ヒューリアみえ研究報告会

<日 時>2017年2月28日(火)13:30~16:30(受付 13:00~)

<会 場>三重県人権センター・大セミナー室

手話通訳あり

<資料代>1,000円※当日、研究紀要(一般価格1,290円)を配付させていただきます。

<第1講座>部落問題に関する高校生アンケート調査から見てきたもの

調査・研究員 原田朋記

人権問題に関する三重県民意識調査で20代の意識をみていくと、結婚差別の現状や部落差別解消への展望を「わからない」と回答する割合が高く、高校での部落問題学習の経験も低い結果が示されています。これらの結果から、2015年度に県立学校に在籍する最高学年の生徒を対象に「部落問題に関するアンケート調査」を実施し、印象に残っている部落問題学習や被差別部落出身の人からカミングアウトされた経験の有無、部落問題に関する意見や展望について聞きました。アンケートから見てきた高校生の部落問題に対する認識や課題について報告します。

<第2講座>「三重県に障がい者差別解消条例をつくる会」の今日までの取組

事務局長 松村 元樹

東日本大震災を機に「災害と人権研究会」を発足し、防災・減災は差別の解消なくして実現はあり得ないという現実をもとに、研究会を継承・発展し、「三重県に障がい者差別解消条例をつくる会」として、条例づくりに向けた調査・研究、実践を積み重ねてきました。その経過を報告します。

<第3講座>「市町の人権施策等に関する取組状況調査」から

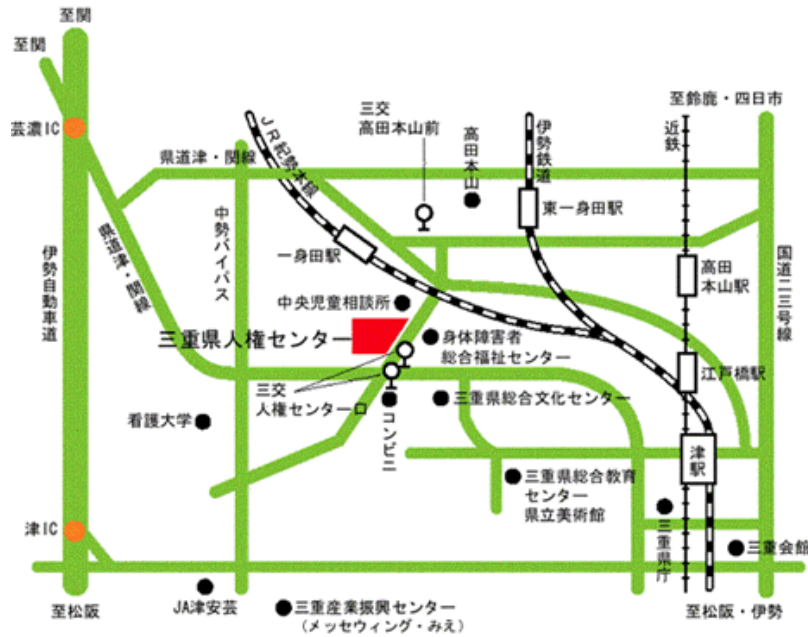
研究員 稲垣 満佐代

三重県内の市町における人権施策をはじめ、障害者差別解消法に関連する取組、子どもの貧困対策や生活困窮者の自立支援に関する取組の現状について調査を実施しました。「人権が尊重される三重をつくる条例」の具現化のために、今後、市町においてどのような取組が必要であるかを模索するための調査結果を報告します。

<主催>公益財団法人反差別・人権研究所みえ(愛称:ヒューリアみえ)

<後援>三重県、三重県教育委員会、三重県市長会、三重県町村会、
公益社団法人三重県人権教育研究協議会、三重県教職員組合

<会場案内>



<問い合わせ先>

公益財団法人反差別・人権研究所みえ(愛称：ヒューリアみえ)

〒514-0113 津市一身田大古曾 693-1 三重県人権センター内

TEL 059-233-5525 / FAX 059-233-5526

<申込方法>

メールまたはFAXで2月24日(金)までにお申し込みください。

➡メールの場合：secretariat@kenkyu-mie.or.jp

上記のアドレスにお送りください。件名には「研究報告会申込」とご記入いただき、本文に

①お名前・②連絡先電話番号・③所属等をご記入の上、お申し込みください。

➡FAXの場合：**059-233-5526**

下記にご記入の上、お申し込みください。

「2016年度 ヒューリアみえ研究報告会」に参加します。

お 名 前	
連絡先電話番号	
所 属 等	

※上記の個人情報は、研究報告会の連絡のためにお伺いするものです。研究報告会実施後は参加票の記録を破棄し、上記以外の目的に利用することはありません。

※派遣依頼が必要な場合、その旨を申しつけください。